

読み札① (あ～け)

あ

あつかん
圧巻の輝き

しんめい
神明の花火

〔神明の花火〕
武田氏時代の「のろし」の技術が花火づくりへと受け継がれ、やがて紙すき名人・基左衛門をまつる「神明社」の祭りの日に、盛大に花火を打ち上げるようになったといわれている。

い

いぬめ
犬目 鳥沢 猿橋の

もも たらうでんせつ
桃太郎伝説

〔桃太郎伝説〕
鶴屋(上野原)で育った桃太郎が、犬目(上野原)、鳥沢・猿橋(大月)を経て、岩殿山(大月)の鬼を退治したという伝説がある。大月周辺には、他にも桃太郎伝説にちなんだ地名などがある。

う

うつく
美しいふるさと

みんなであそび
みんなで支えて

ゆた
豊かなまちへ

〔山梨県〕
私たちの大切なふるさと山梨県。ふるさとに ついて学び、その魅力や可能性、課題などを考えることを通じて、持続可能なふるさと山梨の実現に向けて、ともに参画していきたい。

え

えりんじ
恵林寺に

しんげんこう
信玄公の奥津城

〔恵林寺〕
一三三〇年、夢窓国師によって創建された。山梨が誇る戦国武将・武田信玄の墓がある。信玄公は京都を目指す戦いの途中で病に倒れ、五十三歳でその生涯を終えた。
※奥津城 … お墓のこと

お

おたすけいもで

せいだのたまじ

〔せいだのたまじ〕
※おたすけいも … ジャガイモのこと
たまじと呼ばれる小さなジャガイモを味噌で甘辛く煮詰めた郷土料理。せいだは、江戸時代の飢きんの際に、ジャガイモ栽培を広めた代官・中井清太夫に由来するといわれている。

か

かじゅ
果樹が広がる

ホタテのかたち

せんじょうち
扇状地

〔扇状地〕
山あいを流れてきた川が平地に出て、流れが緩やかになり、流れてきた土砂が広く積もってできる地形で、扇やホタテ貝の形に似ている。水はけがよく、果樹栽培などに適している。

き

きよ
清らかな水が育む

けいりゅう
溪流の女王

〔溪流の女王〕
「溪流の女王」とはヤマメのこと。小菅村の酒井嵩さんが民間で日本一早くヤマメの養殖に成功したことをきっかけに、特に小菅村で養殖が盛んに行われている。

く

クニマス

さいこ
西湖で生きてます

〔クニマス〕
秋田県田沢湖に生息していた魚で、絶滅したとされていたが、二〇一〇年西湖で生息が確認された。現在、クニマスの保護に向けた生態の調査や養殖技術に関する研究が行われている。

け

けん
県のシンボル

ふんわりピンクの

フジザクラ

〔県のシンボル〕
一九五四年、県の花としてフジザクラが制定された。その他、県の鳥としてウグイス、県の獣としてカモシカ、県の木としてカエデが、それぞれ制定されている。

読み札② (こ～つ)

こ

コシにびっくり

よしだ
吉田のうどん

〔吉田のうどん〕
富士吉田が誇る郷土料理。繊維業で織物を扱う女性の手が荒れないように男性がうどんを作るようになり、力強く生地を練ったことで、歯ごたえのあるうどんが主流になったといわれている。

さ

さんぶいち
三分一の石

ちえいし
知恵の石

〔三分一湧水〕
北社市にあり、日本名水百選にも選定されている。分水楯には三角の石柱があり、三方向に等しく水を配分することができるようになって

し

しぜんめぐ
自然の恵み

ミネラルウォーター

〔ミネラルウォーター〕
富士山や南アルプス、八ヶ岳などの山々に囲まれた山梨県は、ミネラルウォーターの一大生産地である。山梨の良質なミネラルウォーターは、県内外の人々の心とを潤している。

す

すいしうすい
「水晶水」の

めぐ
恵みを受けた

さいばい
クレソン栽培

〔クレソン〕
道志の自然に育まれた水は「水晶水」と呼ばれたたえられてきた。道志村では、きれいで豊かな水を生かしてクレソンが栽培されており、その生産量は日本でトップクラスである。

せ

せいそくすうにほんいち
生息数日本一

こくちよう
国蝶オオムラサキ

〔オオムラサキ〕
一九五七年に国蝶に指定された。写真などで目にする美しい青むらさき色の羽をもつのはオオムラサキである。北社市長坂町は、オオムラサキの全国一の生息地として知られている。

そ

「そこだいそこだい」

おみゆきさん

〔おみゆきさん〕
釜無川の洪水が起らないよう願った祭りが始まりといわれる。「そこだいそこだい」のかけ声のせて、笛吹市から甲府市を通過して、甲斐市の信玄堤へとおみこしが運ばれる。

た

だいまうぎようれつ
大名行列

ごうかけんらん
豪華絢爛

はっさくやたい
八朔屋台

〔八朔祭〕
郡内三大祭りのひとつに数えられている祭り。華やかな大名行列や豪華に飾られた屋台が祭りの見どころ。江戸時代に製作された屋台は、関東でも屈指の屋台といわれている。

ち

ちほうびよう
地方病との闘い

たたか
杉浦親子の

しゅうねんみの
執念実る

〔杉浦健造・三郎〕
かつて、甲府盆地を中心に県内にまん延した地方病「日本住血吸虫症」の研究と治療に力を尽くした。杉浦親子が研究と治療を行った病院は、現在、一般に公開されている。

つ

つか
使ってみるじゃん

こうしゅうべん
甲州弁

〔甲州弁〕
山梨県独特の方言。山梨県内で使われている方言でも、地域によって言い方や意味に違いがある。特に、国中地方と郡内地方で、方言の様子は大きく異なる。

読み札③ (て～ひ)

て

伝統でんとうの
技わざを受け継つぐ
手彫てぼり印章いんしょう

〔甲州手彫り印章〕
甲州水晶貴石細工や甲州印伝とともに、国の伝統的工芸品に指定されている。この他にも、山梨には雨煙焼や甲州鬼瓦など、様々な伝統工芸があり、熟練の技術が継承されている。

と

徳島とくしませぎ
七郷潤しちこううるおし
なお余あまり

〔徳島せぎ〕
水路を開くために大きな役割を果たした「徳島兵左衛門」の名前に由来する。せぎの完成で、「月夜でも焼ける」といわれた「原七郷」の村々にも豊かな水が流れ、新田などの開発が進んだ。

な

南部なんぶ氏しがつなぐ
青森あおもりとの絆きずな

〔南部氏〕
南部光行が祖とされている。現在の南部町周辺を領地とし、後に奥州(現在の青森県から岩手県)に移った。現在でも、山梨・青森・岩手にある南部氏ゆかりの市町の交流が続いている。

に

二千年にせんねんの
時ときを刻きざんだ
神代じんだい桜ざくら

〔山高神代桜〕
北杜市武川町の実相寺境内にある、樹齢二千年ともいわれるエドヒガンザクラ。一九二二年に国の天然記念物第一号に指定されており、日本三大桜のひとつに数えられている。

ぬ

抜ぬいてびつくり
大塚おおつかにんじん

〔大塚にんじん〕
栄養成分が豊富な「のつがい」土地で栽培される大塚にんじんは、太く、長く、独特の風味と甘さがある。収穫時には、長さが八〇センチメートルから一二〇センチメートルにもなる。

ね

寝ねる牛うしかたどる
山中やまなか湖こ

〔山中湖〕
山の上から眺めると、牛が寝そべって、気持ちよさそうに水浴びしている姿に見えるといわれている。富士五湖の中で、湖面の面積が最大であり、湖面の標高が最も高い。

の

農鳥のうとり告つげる
田植たうえの時期じき

〔富士山の農鳥〕
四月下旬から五月中旬に、富士山の七合目から八合目あたりに見られる鳥の形をした残雪のこと。田植えなどの農作業を始める時期の目安とされている。

は

ハンセン病びょうかんじや患者びやうか者に
寄より添そい続つづけた
小川おがわ正まさ子こ

〔小川正子〕
ハンセン病で苦しむ人々を救う活動に生涯を捧げた医師。四十一歳の若さで亡くなったが、正子が書いた体験記「小鳥の春」は映画化され、全国的に知られることとなった。

ひ

人々ひとびとの
くらしを支さえた
富士川ふじかわ舟運ふねうん

〔富士川舟運〕
約四〇〇年前、角倉了以らにより、鵜沢(山梨)から岩淵(静岡)までの水路が開通した。信州往還や駿州往還といった陸路が交わる地でもあった鵜沢は、富士川舟運の要地として発展した。

読み札④ (ふ～や)

ふ

富士の山
文化の源
世界遺産

〔富士山〕
日本を代表する山であり、国内外の人に親しまれている。「信仰の対象」と「芸術の源泉」として、二〇一三年六月、二十五の構成資産とともに、ユネスコの世界文化遺産に登録された。

へ

**平和への
思いをつなぐ
わだつみ文庫**

〔わだつみ文庫〕
戦没学生・中村徳郎氏の弟・克郎氏が収集した資料などが展示されている。克郎氏は、徳郎氏から託されていた手記をきっかけに、戦没学生の遺稿集「きけわだつみのこえ」の編集に携わった。

ほ

**芳醇な香り漂う
甲州ワイン**

〔甲州ワイン〕
日本固有のブドウ品種・甲州で造られるワイン。日本ワインの評価が世界的に高まる中、山梨ワインのさらなる発展を図ろうと、二〇一九年、知事が「山梨『ワイン県』宣言」を行った。

ま

**万力の
空を見上げる
嘉一郎**

〔根津嘉一郎〕
明治から昭和にかけて活躍した実業家で、事業の他、県下の小学校にピアノやミシンを贈るなど教育文化振興にも寄与した。万力公園には嘉一郎の像があり、ふるさとの今を見つめている。

み

**ミレーをみるなら
芸術の森へ**

〔山梨県立美術館〕
一九七八年の開館以来、「ミレーの美術館」として知られている。美術館や隣接する文学館を含む「芸術の森公園」には、県内外から多くの人が訪れ、文化や自然を楽しんでいる。

む

**昔ながらの
町並み残す
赤沢宿**

〔赤沢宿〕
身延山久遠寺と七面山を結ぶ参道の途中に開かれた宿場町。町並みや参道、石畳など歴史的景観を今に残しており、一九九三年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された。

め

**麺は幅広
ふるさとの味
おほうとう**

〔ほうとう〕
山梨県を代表する郷土料理。小麦粉を練って幅広の麺にし、かぼちゃなどの野菜と一緒に煮込む味噌仕立ての料理。古くは信玄公が陣中食にしていたという言い伝えもある。

も

**木喰上人
優しくほほえむ
仏像千体**

〔木喰上人〕
一七一八年、現在の身延町に生まれた。厳しい修行の後、日本各地を旅して千体以上の仏像を彫った。仏像の多くは、にっこりほほえんだ表情をしており、「微笑仏」とも呼ばれている。

や

**柳沢の治世
「これぞ甲府の花盛り」**

〔柳沢吉保・吉里〕
江戸幕府五代将軍・徳川綱吉の頃、甲斐の国を二〇年にわたり治めた。この間、甲府のまちは大きく発展し、その様子は「これぞ甲府の花盛り」と表されるほどであった。

読み札⑤ (ゆ～わ)

ゆ

ゆみ
めいしゅ
弓の名手

よいち
かつやく
与一の活躍

だんのうら
壇ノ浦

〔浅利与一〕
平安時代末から鎌倉時代のはじめに活躍した
武將で、弓の名人として知られる。那須与一、
佐奈田与一とともに「三与一」と呼ばれ、「平家
物語」の「壇ノ浦の戦い」にも登場する。

よ

「よーいよーい」と

きや
おんど
木遣りの音頭

〔お松引き〕
丹波山村で三〇〇年以上前から続く正月の
伝統行事。Y字形の木ゾリに乗せて道祖神まで
運ばれた松や正月飾り(お松様)を焼き、一年の
無病息災を祈願する。

ら

らいちゅうもあ
ライチョウも歩くよ

てんくう
さんぽ
天空の散歩道

〔ライチョウ〕
本州中部の高山帯(ハイマツ林など)に生息して
おり、国の「特別天然記念物」に指定されている。
南アルプス北部では、いわゆる白根三山や駒ヶ岳、
仙丈ヶ岳、鳳凰三山などに生息している。

り

りっぱ
ひょうちゆう
立派な氷柱

なるさわひょうけつ
鳴沢氷穴

〔鳴沢氷穴〕
一〇〇年以上前の富士山の噴火で流れ出た
溶岩が冷めて収縮し、内部のガスが噴出した後
に残った空洞である。洞内では、富士山伏流に
よる氷柱を、年間を通してみる事ができる。

る

ルーツをたどり

れきし
であ
歴史と出会う

ふどき
おか
風土記の丘

〔風土記の丘〕
考古博物館や研修センター、古墳群などがある。
博物館では、旧石器時代から明治時代までの
様々な考古資料を展示しており、山梨の歴史や
私たちのくらしのルーツを探ることができる。

れ

レンジッツジ

さんちよういろど
山頂彩る

あまりやま
甘利山

〔甘利山〕
山梨百名山のひとつで、手軽に登れる山として
親しまれている。スズランやアヤマなど、様々な
花が咲くが、中でも六月に見ごろを迎える十五万
株ともいわれるレンジッツジが有名である。

ろ

ロッククライミング

びやうぶいわ
屏風岩そびえる

みつとうげ
三ツ峠

〔三ツ峠〕
「開運山」の特征的な三つの峰を指して、
「三ツ峠山」と呼ぶことが多い。標高一七八五
メートルの山頂付近にある屏風岩は、日本有数の
ロッククライミングの名所として知られている。

わ

湧き出る清水

おしの
はっかい
忍野八海

〔忍野八海〕
世界遺産富士山の構成資産の一部に認定されて
いる。出口池、お釜池、庭汲池、鏡子池、湧池、
濁池、鏡池、草薙池の八つの池からなる。それぞれ
の池には石碑があり、和歌が刻まれている。

湧き出る清水

読み札⑥（白紙）
